

## 会 議 録

会議の名称	登米市立小・中学校「学校再編に係る地域座談会」(東和地域)	
開催日時	令和元年 5月15日(水)	
	午後 7時 00分	開会
	午後 8時 30分	閉会
開催場所	東和総合支所 3階 大会議室	
教育委員会 出席者氏名	教育長	
	教育部長	
	教育部次長兼学校教育管理監	
	学校再編推進室長	
	学校再編推進室	学校再編推進係長
	学校再編推進室	主事
	学校再編推進室	主事
参加者数	48名	
挨拶	事務局	開会 午後7時00分
	教育長	開会挨拶
説明	事務局	配布資料に沿って「登米市立小中学校等再編構想」及び「(仮称)学校統合準備委員会の設置」について説明
質問	事務局	意見交換・質疑応答
	出席者1	統廃合ありきで進んでいるようだが、統廃合にならなくてすむ条件は何かあるのか。
答弁	室長	児童の学校生活を進める上で児童数が少ないとできることが限られてくる。小規模が悪いというわけではないが、多数の中で人間形成をしていくために一定程度の学級規模が必要と考えている。条件というよりは、子供達がより良い小中学校生活を送れるよう、一定程度の児童・生徒数が必要であると考えている。
要望	出席者1	児童数が減らなかった場合や児童数を増やす方策を考えているか。
答弁	室長	各部署で取り組みは行っているが、全国的に少子化の波が押し寄せている。根本的な改善にならなければ、学校再編についても考え方を持っていかなければならない。
質問	出席者1	新聞に載っていたが滋賀県の離れ小島に小学校がある。少子化の影響で児童数が5人まで減ったそうだが、廃校はしなかった。その後越境入学を進めたところ、14人まで児童数が回復したとのこと。学校を残すという強い自治体の意志が必要だと感じた。子供の人口を増やす、若年交流人口を増やす努力をこの地域では行ってきたのか。
答弁	室長	東和地域の中で十分な施策をとってきたかという点で十分ではなかつ

質問	出席者 2	たかもしれない。市の一部の地域では流入人口を増やす施策を行っているが中々実を結んでいない。学校が無くなった後に地域が廃れていくことも十分考えられ、それについては何らかの対応が必要である。また、地域の意見を聞きながら進めていきたい。
質問	出席者 2	今日の座談会についてこういった形で周知したのか。座談会の話は私の周囲では出なかった。パブリックコメントを実施したことを何人の方が知っているのか。地域住民の理解を得るのであれば、より事前に周知することが必要ではないか。
答弁	室長	そういったことの事前周知、結果報告については足りないと感じている。今回の座談会も先月末に各戸配布をしたが全部それが伝わっているかという、そうでは無い部分もあると思う。どこまで周知ができるか具体的には言えないが進行状況は多くの皆様に伝えられるように工夫する。
質問	出席者 3	1 学年 10 人しかいない中で 6 年間学校生活をおくらせることは抵抗がある。8 ページの図によると最も早く平成 33 年を目標にしたスケジュールと見たが、地域の合意や（仮称）学校統合準備委員会（以下「統合準備委員会」とする。）の内容によってスケジュールは遅くなったり早くなったりするのか。また委員の構成も気になり、賛成の人ばかりであればとんとん拍子に進むと思う。委員は誰がどのように決めるのか。
答弁	室長	学校再編のスケジュールについては、統合の判断、意見集約の時間、改修等にかかる時間を考慮すると 2～3 年程度期間を要する見込みということでこのようなスケジュールになっている。期間を詰められるところは詰めていく。委員の構成については、保護者の代表者は各学校の P T A 会長、運営協議会については今年度決定した各校の代表、区長会の会長については町域毎に区長会が置かれ会長の方がいると思うのでその方々をお願いしたいと考えている。その代表者の方に各部分の意見集約をお願いし、大筋の合意を図りたい。
質問	出席者 2	統合しても単学級だと思うが、統合したからといって教諭職の人数は増えないと思うが、担任が生徒一人に関われる時間は減るのではないか。統合するメリットばかり出ているが、小規模校のメリットも比較対象として挙げるべきではないか。
答弁	管理監	教員の定数については、国の基準によるので指摘があったとおりに増えるものではない。市では教員補助員を採用し先生方の支援が行き届かない部分をサポートしている。統合した場合についてもその様な支援をすることはできると考えている。
質問	出席者 2	他学区での支援が受けられなくて東和学区に児童が変わって来たという話も聞く。教員補助員は配置出来ても各学級に一人だと思うが。
答弁	管理監	各校の校長先生に学校の現状を踏まえ要望を出してもらい、それを考

質問	出席者 2	慮しながら配置を行っている。それについては今後もその様な形で進めて行きたい。
答弁	出席者 2	現に大きい学校でできていないところもある。
質問	管理監	大きい学校だからではなく、補助員の人数的な部分で予算化されていても配置できていないというのも現状としてある。今後も努力していくとしか言えない部分もあるが、出来る限りの配慮をしていきたい。また、大規模校が必ずしもいいかというところではなく、メリット、デメリットはある。市としては子供達が成長していくなかで、多様な考え方に触れていく機会を持つという点では小規模校には課題があると考えている。また、新学習指導要領が施行される中で、できるだけ多くの考え方に触れる機会を持たせたいという教育委員会の考え方もある。3校を統合しても複数学級にならないという部分はあるが、3校で努力している部分と併せて、統合により児童の力を伸ばしていきたいということでご理解いただきたい。
質問	出席者 4	統合には反対する。多くの方が納得する回答を出すためには十分な議論が必要だ。質問は一点、小中学校を設置し運営する責任は誰に有るのか。
答弁	管理監	設置者としての市教育委員会に有る。
質問	出席者 4	3校の中学校を統合する際に東和中学校をどの位置にするかで東和町ではかなり揉めた。最終的に中心地に統合した。東和中学校が他の町域の中学校と統合するという話が動き出した時に、仮に登米中学校に統合するとして東和町域だと片道1時間近くの通学時間がかかるところも出てくる。1日往復2時間を3年間継続するのはかなりのストレスになる。
質問	出席者 4	3校の中学校を統合する際に東和中学校をどの位置にするかで東和町ではかなり揉めた。最終的に中心地に統合した。東和中学校が他の町域の中学校と統合するという話が動き出した時に、仮に登米中学校に統合するとして東和町域だと片道1時間近くの通学時間がかかるところも出てくる。1日往復2時間を3年間継続するのはかなりのストレスになる。
答弁	室長	これから統合する上で一番課題になるのが統合校の位置だと思う。例えば東和中学校を小学校として活用するとなると他の隣接町の中学校と統合することになる。東和町が一番広いので端から端となると、通学時間が1時間近くかかる場合も可能性としてはある。いずれ簡単に決める話ではない。中学校を再編の検討案に絡めないと進まないという部分もでてくる可能性がある中で、その際は皆さんが納得できる方向に持って行きたい。中学校も部活が単独でできていないなど、早急に考えていかなければいけない時期に来ているということで、アンケートでもそういった意見が出ていますと受け止めている。そういった部分も含め統合準備委員会の中で良い方向に持って行きたい。
質問	出席者 1	再編構想の中で全て進んで、登米市内の小中学校は再編から免れられないのか。それとも今後東和町域だけ児童が増える仕組みを作った、児童が増えたという場合は統廃合しなくても済むのか。
答弁	室長	現状では全市を網羅している所以对象となっている学校については、この計画で進めたいと考えている。

質問	出席者 5	東和町域の学校は全てスクールバスを利用していると思うが、国語、算数、理科、社会については各学校で授業を行い、体育など集団で行った方が良い教科については拠点校を作りそのスクールバスを利用し移動した上で、拠点校で授業を行う方式をとってはどうか。統合ありきではなく登米の教育ではこうだという何か誇れるもの考えて欲しい。また、地域から学校が無くなるとコミュニティが廃れてしまう。努力するという話があったが、学校が無くなった地区の話も聞いたらどうか。
答弁	部長	出来るかどうかは別問題だが、新たな発想と言う事で意見を頂戴する。
質問	出席者 6	学校管理費の見通しが載っているが、経費を削減するための統合なのか児童、生徒のための統合なのか。また統合し経費が削減になった場合は子供達のために使えるのか聞きたい。
答弁	室長	県費負担の人件費は減るが、市費分については、施設管理費は減少するが、スクールバスの運行費が増額となるため経費としては増える見込みである。単純に経費削減のために統合するのではなく、子供達のための統合として進めている。
質問	出席者 1	都市部の児童・生徒を山村留学のような形で受け入れるような新しい仕組みを作るなど、児童数を増やす仕組みを作れないのか。
答弁	部長	少子化対策、教育、医療は市にとって重要課題である。市の担当部署で様々な施策を展開している。教育委員会だけでなく他部署と一丸となって少子化対策に取り組みなければならないと考えている。
質問	出席者 7	地域別再編実施計画は今回のような意見交換をしたうえで進めていくのか。統合準備委員会の委員にはPTA会長等が含まれおり、任期が終わり途中で人が変わり、考え方が変わると話が振り出しに戻るのではないか。
答弁	室長	本日の座談会をとおして教育委員会の考えはご理解いただけるものと考えている。委員については充て職なのでPTAなど代る方もいると思うが、年度毎に合意形成が出来た部分については委員会としての確認を取り、振り出しに戻らないようにしたい。
質問	出席者 7	計画ができたときには地域の方々にも示すという話だったが、計画が出来てから示すことになるのか、それともそこで検討の余地はあるのか。
答弁	室長	統合準備委員会ができて全て決まるというわけではなくて、その中で意見交換をし、その中身を地域の方々に落としこみ、また、意見をいただきながら統合準備委員会の中で話を揉んで行きたい。
質問	出席者 8	小学校については仕方が無いと思っている。中学校の再編を進める上で単独で進めるのかそれとも新田中、豊里中のように小中一貫校とする

		のか確認したい。
答弁	管理監	現在、市内には一貫校として豊里小中学校、併設型ということで新田小学校及び中学校を設置している。「魅力的な教育環境づくり」という点では小中一貫校も魅力的ではあるが、単学級の解消にはつながらず、免許外指導、部活動の制限などの問題は解決しないため、再編構想の中では小中一貫校という方法をとらずに、他町域の学校との統合という視点で考えていくこととしている。
質問	出席者 2	同級生でないと多様性が生まれないという話だが、米川小学校は上下の学年が交流し多様性が生まれている。ICTを使えば他の学校との交流も図れるのではないか。また、東和中学校の位置に小学校を持っていくとして、小中一貫校は別として建物をシェアできないか。
答弁	管理監	先ほどの話で言葉足らずだったのであれば申し訳ない。小規模、大規模それぞれにメリット、デメリットがあるという前提に立った上での話なので、小規模だから横の関係ができないという否定ではないということをご理解いただきたい。校舎の配置については、今後意見を頂きながら進めていきたいと考えている。いま頂いた意見も今後の参考にしていければと思う。
意見	出席者 4	これからも人が減り、世の中の形が変わってきた中で今の型にはめて計画を作ることに問題があると思う。単学級になるため義務教育学校、小中一貫校を作るという考えはないとのことだったが、新しい取り組みも実施していくというスタンスがないと合意形成まで辛い作業になる。先ほども話したように他町域の学校と統合し往復2時間を365日通学する事は大変なストレスになる。そういった地域のことも考えて欲しい。返答はいらぬ。
意見	出席者 9	将来のことを考えるのも大切だが、今通学している子供達のことも考えてほしい。今通っている生徒がどうなっていくのか保護者に入ってくる情報が少なく大変不安だ。情報の発信をお願いしたい。
答弁	室長	情報発信については伝え方、量が共に足りていないと思う。進捗状況等について情報発信に努めていきたい。
挨拶	教育長	閉会挨拶
	事務局	閉会 午後8時30分